

作成・改定日 2016/08/18

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 UV-292

輸入会社名 アーク株式会社

住所 大阪市中央区久太郎町 1-9-5

電話番号 06-7730-3331

用途：耐光安定剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性該当区分なし

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性区分 2

皮膚感作性区分 1

環境に対する有害性該当区分なし

危険有害性情報皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

【安全対策】吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別： 化学物質

Chemical Name	CAS No	Weight-%	化審法
Bis (1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidinyl) sebacate	41556-26-7	80%	(5)-5501
Decanedioic acid, methyl 1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidinyl ester	82919-37-7	20%	(5)-5593

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外してうこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護： 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

火災時の特定危険有害性： 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

特有の消火方法： 消火作業は、風上から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置：

個人用保護具を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項： 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法

・機材：

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項： 蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項： 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件： 容器を密栓して冷暗所に保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料： 法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を

設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度： 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具： 防毒マスク、簡易防毒マスク等。

8. 暴露防止及び保護措置

手の保護具： 保護手袋。

目の保護具： 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具： 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态(20℃)： 液体

色： ごくうすい黄色 ～ うすい黄色

臭い： 僅かな臭いあり

引火点： 192℃

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性： 特別な反応性は報告されていない。

混触危険物質： 酸化剤

危険有害な分解生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性： 情報なし

皮膚腐食性／刺激性： 情報なし

眼に対する重篤な損傷

／刺激性：

情報なし

生殖細胞変異原性： 情報なし

発がん性：

IARC = 情報なし

NTP = 情報なし

生殖毒性： 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性：

魚類： 情報なし

甲殻類： 情報なし

藻類： 情報なし

残留性/分解性： 情報なし

生体蓄積性(BCF)： 情報なし

土壤中の移動性

オクタール水分配係数： 情報なし

土壌吸着係数(Koc)： 情報なし

ハリー定数(PaM3/mol)： 情報なし

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類： クラス9 国連番号： 3082

輸送の特定の安全対策

及び条件：

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 危険物第4類 第3石油類

この SDS は、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。

ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もあります。

すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取扱うことを警告します。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。